

ミステリ編集道



[ミステリ編集道_下载链接1](#)

著者:新保博久

出版者:本の雑誌社

出版时间:2015-5-21

装帧:单行本

isbn:9784860112714

今の編集者は夜、寝るでしょ？

作家も編集者も眠らなかった草創期から読者を眠らせなくなった現代まで、編集者13人の証言でたどる戦後ミステリ出版史。

登場する13人の編集者

- ・原田裕
- ・大坪直行
- ・中田雅久
- ・八木昇
- ・島崎博
- ・白川充
- ・佐藤誠一郎
- ・北村一男
- ・山田裕樹
- ・穴戸健司
- ・戸川安宣
- ・染田屋茂
- ・藤原義也

作者紹介:

新保博久

1953年、京都市生まれ。ワセダ・ミステリ・クラブ卒。卒業後、権田萬治氏に師事。2001年『日本ミステリー事典』(権田氏と共同監修)で本格ミステリ大賞、2003年『幻影の蔵 江戸川乱歩探偵小説蔵書目録』(山前譲氏と共編)で日本推理作家協会賞を受賞。

目録: 編集生活六十年(東都書房・原田裕)

乱歩編集『宝石』を支えた男(宝石社・大坪直行)

『新青年』から『マンハント』へ(久保書店・中田雅久)

大口マン復活の仕掛人(桃源社・八木昇)

“もう一人の島崎博”が欲しかった(幻影城・島崎博)

梶山季之から船戸与一・志水辰夫、そして“大衆文学館”(講談社・白川充)

“新潮ミステリー倶楽部”船戸与一『蝦夷地別件』に残された指紋の謎(新潮社・佐藤誠一郎)

『ジャー口』と呼ばれた男(光文社・北村一男)

まくら詞「北方さんの」からの脱却(集英社・山田裕樹)

本当は恐ろしい日本ホラー小説大賞(角川書店・穴戸健司)
生涯一東京創元社(東京創元社・戸川安宣)
『ミステリマガジン』最長期政権の陰で(早川書房・染田屋茂)
歩く編集室の遍歴(国書刊行会・藤原義也)
鼎談 われらが「ミステリ編集者」の時代—国田昌子×山田裕樹×新保博久
..... [\(收起\)](#)

[ミステリ編集道_下载链接1](#)

标签

编辑学

日本

新保博久

推理

小说

历史

评论

利用採訪問答的形式介紹了很多諸如「幻影城」、「創元社」、「早川書房」、「國書刊行會」等知名主編的策劃和編輯推理書系的歷程.感覺問題比較雜，回答也因為採訪的時間都比較長久了，內容記憶都比較隨意和私人化，而對我特別感興趣的地方卻深入不夠.興致勃勃地借來一觀，頗有隔靴搔癢之感.

[ミステリ編集道_下载链接1](#)

书评

[ミステリ編集道_下载链接1](#)